氏名				部門:電気電子
問題番号	問題 R5 Ⅲ-2			選択科目電気設備
答案使用枚数	1 枚目	3	枚中	専門とする事項

<u>1</u> .	超	高	齢	化	社	会	^	対	応	す	る	た	め	の	課	題	=						
<u>1</u> .	1	高	齢	者	の	健	康	状	態	の	モ		タ	IJ	ン	グ	_						
	超	高	齢	化	社	会	に	伴	٧١	高	齢	者	の	_	人	暮	Ġ	し	が	増	加	し	て
٧١	る	0	以	前	は	近	所	づ	き	あ	い	Þ	寄	ŋ	合	٧١	な	ど	が	盛	ん	に	行
わ	れ	ソ	_	シ	ヤ	ル	牛	ヤ	ピ	タ	ル	は	高	か	つ	た	が	`	現	代	で	は	低
下	傾	向	に	あ	る	0	さ	Ġ	に	`	家	族	で	あ	つ	て	b	関	係	性	が	希	薄
に	な	つ	て	き	て	٧١	る	0															
	そ	の	結	果	`	<u>高</u>	齢	者	の	_	人	暮	Ġ	し	比	率	が	増	加	し	1	`	高
齢	者	の	<u>安</u>	否	確	認	は	地	域	で	さ	れ	な	<	な	つ	て	き	て	い	る	2	0
	そ	の	た	め	`	安	全	面	の	観	点	カュ	Ġ	高	齢	者	を	遠	隔	地	か	Ġ	見
守	り	、18	建原	表	犬 į	ま る	<u>}</u>	E I	= /	y]	י נ	/ 3	グー	; ;	5 3	- (는 7)š į	果是	夏	でる	あっ	る。

- ① 冒頭の高齢者の一人暮らしが増加していると重複しています。不要。
- ② 家族であってもという部分への対応がないですね、家族を含めると安否確認だと大げさになってしまうので、健康状態としてはどうでしょうか。→「高齢者の健康状態を確認する社会環境が失われっつある。」

<u>1</u> .	2	医	療	•	介	護	の	充	実														
	超	高	齢	化	社	会	に	お	٧١	て	`	医	師	や	介	護	士	と	٧١	つ	た	医	療
従	事	者	不	足	が	想	定	さ	れ	る	0	3	都	会	と	地	方	の	医	療	従	事	者
数	の	差	が	さ	Ġ	に	拡	大	す	る	٤	`	地	域	4	で	は	高	齢	者	の	社	会
生	活	を	維	持	す	る	۲	논	が	困	難	٤	な	る	0								
	そ	の	た	め	`	<u>生</u>	活	の	質	_⑤	の	観	点	カュ	Ġ	通	信	ネ	ツ	ト	ワ	_	ク
を	活	用	l	`	地	域	に	隔	た	ŋ	の	な	٧١	医	療	•	介	護	サ	_	ビ	ス	の
提	供	が	課	題	で	あ	る	0															

氏名				部門:電気電子
問題番号	問題 R5 Ⅲ-2			選択科目電気設備
答案使用枚数	2 枚目	3	枚中	専門とする事項

- ③ 前段とのつながりを示すため、地方に関する説明を加えましょう。地方の人手不足は、他に比べて 深刻だといった具合に説明すると良いでしょう。そうなると、想定ではなく現状として書きたいで すね。→「・・・不足が顕在化している。地方において、その傾向は一層顕著である。」
- ④ →「地方」
- ⑤ 内容からするに「公平性」ですかね。

<u>1</u> .	3	電	力	通	信	イ	ン	フ	ラ	の	安	定	化	_									
	我	が	国	で	は	`	高	齢	者	を	始	め	と	す	る	災	害	時	要	援	護	者	が
自	然	災	害	に	ょ	ŋ	被	災	す	る	事	例	が	多	発	し	て	お	り	`	安	全	確
保	が	求	め	ら	れ	る	0 0	ŧ 7	Ę.,	災	害	時	の	安	全	確	保	_6	の	た	め	に	`
救	護	者	の	連	絡	手	段	確	保	や	避	難	情	報	を	確	実	に	送	受	信	で	き
る	通	信	環	境	が	必	要	で	あ	る	0	そ	の	た	め	`	電	力	設	備	•	通	信
施	設	な	تلح	の	イ	ン	フ	ラ	の	安	定	稼	働	に	ょ	ŋ	`	電	源	ح	通	信	手
段	を	常	時	安	定	的	に	確	保	す	る	ے	と	が	必	要	で	あ	る		0		
	以	上	`	防	災	面	の	観	点	カュ	ら	イ	ン	フ	ラ	を	強	靱	化	し	電	力	通
信	イ	ン	フ	ラ	の	安	定	化	が	課	題	で	あ	る	0								

- ⑥ 前の文としっかり関係性があるので、「また」という接続詞ではないと思います。→「この安全確保」
- ⑦ 手段が加わっていますが、前文と主張は同じです。削除、または説明がない電源についてのみ記述 すると良いと思います。

0	B .	1		-H-	1,	考	ید	フ	≑π	日石	L	τΉ	т.										
<u>2</u> .	最	£	重	要	ع	与	え	る	課	題	2	理	由	_									
	高	齢	者	の	生	命	を	守	る	う	え	で	最	ŧ	影	響	力	が	大	き	い	IJ	と
カュ	Ġ	,	Γ	医	療	の	充	実	8	J	を	重	要	な	課	題	に	選	定	し	以	下	に
解	決	策	を	述	~	る	0																

氏名				部門:電気電子
問題番号	問題 R5 Ⅲ-2			選択科目電気設備
答案使用枚数	3 枚目	3	枚中	専門とする事項

8) —	→ 「医	: 原・	介護	ぎの充	実」																	
<u>2</u> .	1	遠	隔	医	療	の	充	実	-														
	医	療	時	`	測	定	し	た	生	体	情	報	(1	本 泊			ш.	圧	`	脈	拍	等)
や	患	者	の	映	像	•	音	声	を	遠	隔	地	の	医	師	^		通	信	ネ	ツ	٢	ワ
Ţ	ク	を	通	じ	都	会	の	医	師	^	提	供	す	る		0	ま	た	`	<u>医</u>	療	措	置
11)	に	お	い	て	,	デ	ジ	タ	ル	ツ	イ	ン	技	術	を	応	用	す	る	0	具	体	的
に	は	`	生	体	情	報	を	デ	_	タ	٢	l	て	取	ŋ	込	み	`	لخ	の	よ	う	な
治	療	が	最	Ł	有	効	か	デ	ジ	タ	ル	空	間	で	シ	111	ュ	レ	_	シ	3	ン	す
る	0	۲	れ	に	ょ	ŋ	`	_	人	ひ	と	ŋ	に	最	適	な	治	療	方	針	を	計	画
し	`	地	方	の	医	師	に	て	措	置	を	行	う	λJ	لح	が	可	能	で	あ	る	_12	0
	そ	の	結	果	`	地	方	在	住	高	齢	者	の	通	院	負	担	を	軽	減	す	る	٦
と	や	`	質	の	高	い	医	療	を	遠	隔	地	で	Ł	_(13)	受	け	る	Ĺ	と	が	で	き
る	0																						
9			事地のませ		j∼J	ا ح	都会	の医	師へ	ح ر.	いっ	た表	現に	なっ	てい	ます	ن ک	ちら	に情	報提	供す	るの	か・

- ⑩ なぜ提供するのかといった説明がありません。また、都会の医師というより、専門医ではないでしょうか。また、技術力をアピールするための具体的な取り組みの記述が求められます。技術的な→「・・・音声を遠隔地の専門医と共有し高度な診断を行うため、診断機器の高度化、通信ネットワークの強化を図る。例えば、8K で撮影できる内視鏡など高精細な画像撮影技術の導入や、5G ネットワークなど高速で安定した通信回線の整備を進める。」※技術内容は参考ですので、ご検討を。
- ① 措置ではなく、方針の検討ではないでしょうか。
- ② 遠隔医療なので、距離の隔たりを解消することを示唆しましょう。→「・・・治療方針を設備の整った都市部にて検討し、結果を地方の医師に伝達することで医療サービスの質を高める。

氏名				部門:電気電子	
問題番号	問題 R5 Ⅲ-2			選択科目電気設備	
答案使用枚数	4 枚目	3	枚中	専門とする事項	

(13)	逐隔 地	はとい	うと	基準	とな	お地	点が	ある	ので	、 ک	の場	合は	تع ٦	こで	b]:	が良	いと	思い	ます。			
<u>2</u> .	2	介	護	の	質	向	上																
	超	高	齢	化	社	会	に	伴	٧١	`	介	護	人	材	の	不	足	Þ	職	員	の	身	体
<u>的</u>	負	担	が	問	題	논	な	つ	て	い	る	_4	0	そ	Ĺ	で	,	Ιο΄	「セ	ン	サ	_	を
介	護	現	場	^	応	用	し	<u>介</u>	護	の	質	の	向	上	_(15)	を	図	る	0	例	え	ば	`
バ	イ	タ	ル	セ	ン	サ	J	に	よ	り	`	要	介	護	者	の	脈	拍	•	呼	吸	数	を
測	定	し	,	IJ	ア	ル	タ	イ	ム	で	健	康	状	態	を	把	握	す	る	ک	لح	が	で
き	る	1 6	0																				
	۲	れ	に	ょ	ŋ	,	患	者	の	生	活	•	身	体	デ	ļ	タ	を	_17	ケ	ア	プ	ラ
ン	^	活	用	し	介	護	の	質	を	向	上	す	る	ر ح	ح	が	で	き	る		0	ま	た
19	IJ	ア	ル	タ	イ	ム	監	視	に	よ	る	訪	室	□	数	の	減	少	カュ	Ġ	`	介	護
土	の	身	体	的	負	担	を	軽	減	し	介	護	業	務	の	効	率	化	に	貢	献	で	き
<u>る</u>	_200	0																					

- 個 問題点は背景で述べるべきですし、背景ですでに述べています。削除。
- ⑤ 人材不足の解決策なら、生産性の向上ではありませんか。
- ⑩ 解決策なので、やることとして書きましょう。→「把握する」
- ⑪ 状況把握からデータ活用に話題が変わるので(前述の「把握する)といった行動が原因になっていない)、「また」を用いると良いでしょう。さらに、センサーからデータを蓄積するといったプロセスを書くことにより、説得性が増すと思います。→「また、センサーから取得した患者のデータを蓄積し、・・・」
- ⑩ 介護の質を向上させることは、共通した目的なので不要だと思います。また、やることを書きましょう。また、ここも技術力アピールが不足気味です。→「AI技術を用いてケアプランを作成する。」
 ※技術内容は参考ですので、ご検討を。
- ⑩ 「また」は使用してしまったので、「さらに」に変更すると良いでしょう。

氏名				部門:電気電子
問題番号	問題 R5 Ⅲ-2			選択科目電気設備
答案使用枚数	5 枚目	3	枚中	専門とする事項

② ⑤で生産性の向を述べてしまったので、不要です。波及効果を述べるのであれば、生産性の向上と介護の質の向上が同時に達成可能であり、相乗効果が期待できるといったように本来意図しない特徴的な効果を述べると良いでしょう。

L																							
<u>2</u> .	3	地	方	都	市	~	の	5 G	網	普	及	_											
	医	療	の	充	実	21)	の	た	め	に	は	`	大	容	量	•	高	速	•	多	数	同	時
接	続	が	可	能	な	通	信	環	境	が	必	要	で	あ	る	o	ل	の	た	め	`	通	信
環	境	が	脆	弱	で	あ	る	地	方	都	市	に	<u>5</u>	G	網	を	普	及	す	る	た	め	の
整	備	を	進	め	る	22	0																
	ま	た	`	<u>5</u>	G	網	強	靭	化	_23	の	た	め	`	通	信	線	の	複	数	ル	<u> </u>	1
化	`	予	備	バ	ツ	テ	IJ	<u> </u>	の	設	置	等	の	対	策	Þ	停	波	後	に	備	え	た
隣	接	通	信	局	に	ょ	る	力	バ	_	Þ	移	動	基	地	局	車	`	可	搬	型	発	電
機	の	配	備	等	ŧ	同	時	に	進	め	る	_24	0	そ	し	て	`	5	G	が	繋	が	り
に	<	٧١	地	域	は	П	_	力	ル	5	G	に	よ	り	常	時	通	信	接	続	可	能	と
す	る	0																					
	そ	の	結	果	,	地	域	に	お	٧١	て	ŧ	強	靱	な	5	G	網	の	構	築	に	よ
ŋ	安	定	し	た	通	信	環	境	を	提	供	で	き	る	2 5	0							

- ② → 「医療・介護の充実」
- ② 冗長的です。→「5G網を整備する」
- ② 強靭化というと防災対策に見えます。通信に依存した医療が普及すると、瞬断であっても人命にかかわるため、通信の安定化といった論調にしてはいかがでしょうか。
- ② ちょっと総花的に見えますので、効果別に書くなど整理と補足的な説明を加えると技術力アピール につながると思います。
- ② これは当然の帰結なので不要だと思います。

氏名					部門:電気電子
問題番号	問題 R5 Ⅲ-2			選択科目	電気設備
答案使用枚数	6 枚目	3	枚中	専門とする事項	

<u>3</u> .	新	た	に	生	じ	う	る	リ	ス	ク	と	そ	れ	^	の	対	策	_					
<u>3</u> .	1	新	た	に	生	じ	う	る	IJ	ス	ク	_											
	解	決	策	実	行	に	伴	う	通	信	ネ	ツ	<u>۱</u>	ワ	_	ク	化	に	よ	ŋ	_26	`	サ
イ	バ	J	攻	撃	に	よ	ŋ	サ	J	バ	_	ダ	ウ	ン	し	通	信	を	活	用	し	た	医
療	を	維	持	で	き	な	٧١	IJ	ス	ク	が	あ	る	0									\exists
② 本質的なリスクは「解決策の実行により通信根通ワークに依存した体制となるため、」ではないでしょうか。																							
<u>3</u> .	2	上	記	^	の	対	策																\neg
	基	幹	シ	ス	テ	ム	に	お	け	る	D	M Z	領	域	の	保	護	P	`	内	部	サ	_
バ	ļ	ح	外	部	サ	_	バ	ļ	ح	の	間	に	デ	_	タ	ダ	イ	オ		ド	を	配	置
し	外	部	カュ	Ġ	の	侵	入	を	完	全	に	シ	ヤ	ッ	ト	ア	ウ	<u>۱</u>	す	る	0	以	上
																							\dashv
												1											